

ジェレミヤ・ナルザリー

プリシラセンター

インド・アッサム州 グワーハーティー

部族 / 民族: ボロ・カチャリー
母語: ボド語
宗教: キリスト教
職業: 現場責任者 / 指導員



仕事について：

「アジア学院で学んだことを4つの要点にまとめると、神を愛すること、他者を愛すること、土や自然を愛すること、そして自分を愛することです。私は講義でも実習でも、すべての研修プログラムにおいて、これらの要点を教えています。」

ジェレミヤ・ナルザリーの複合有機農業と地元のネットワーク構築の経験は、彼のインドのコミュニティで、特に自然災害や環境崩壊の際に、恩恵をもたらしてきました。2020年にアッサムで洪水が起きた折には、災害救援に携わり、被災した人々が収入を得られるよう訓練を行いました。彼はアジア学院の研修を生かして、鶏や豚の飼育を統合した作物栽培についてコミュニティに教えたのです。

ジェレミヤは、コミュニティの農民たちに化学農法の危険性と、その危険性を回避するための有機農法の技術を教えています。当初は化学農法からの転換に反発があったものの、農民たちは化学農法のマイナス面を理解し、より有機的な農法に移行しました。今では土壌を保護し、健康的な食品を摂取し、作物の商品化を目指しています。

2025年はアジア学院で、健康と衛生、清潔な食物、バランスの取れた食生活、ゴミの分別について学びを深めたいと考えています。また、寮のコーディネーターとして、皆がここで過ごす時間をより平和なものにするために、開かれた対話の促進を目指します。

卒業後は引き続き、養鶏、養豚、自然農法を通じて農村に住む農民たちを力づけていきたいと願っています。

送り出し団体について：

プリシラセンターはインドのアッサム州、グワーハーティーにあり、社会的弱者、特に女性と少女たちの権利と能力を高めることに力を入れています。現在、同センターは他の4つの団体と提携し、縫製訓練や有機農業教育を通じて経済的自立を促進しています。団体は、ジェレミヤがアジア学院で、畜産や飼料作り、土壌保全のための有機肥料、食品加工システムなどについて学び、これらの技術を多くのコミュニティへ広めていってほしいと期待しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)